

請 願 文 書 表

(2 7 年 9 月 定 例 会)

受理 番号	受理年月日	件 名	請 願 者	紹 介 議 員	要 旨	所管委員会
4	平成 2 7 年 9 月 7 日	「 安 全 保 障 関 連 法 制 」 (案) に 関 する 請 願	亀岡市余部町上条 1 3 戦争法案反対亀岡共同センター 代表 小澤 正嗣 ほか 7 団体	馬場 隆 並河 愛子 三上 泉 酒井安紀子	<p>(請 願 の 趣 旨) 「 安 全 保 障 関 連 法 制 」 (案) に 反 対 の 意 思 を 表 明 す る こ と。</p> <p>(請 願 の 理 由) 安倍政権が今通常国会で成立させようとしている「安 全保障関連法制」(案)は、立憲主義及び憲法九条を破 壊するものとして、多くの批判が寄せられて、国民の多 数が反対しています。 そもそも日本政府は、戦後一貫して、憲法九条解釈に ついて「海外での武力行使は許されない」ことを土台と してきました。ところが、昨年 7 月 1 日の「閣議決定」 とそれを具体化した今回の「安全保障関連法制」(案) は、日本に対する武力攻撃がなくても、他国のために海 外での武力行使に道を開くものとなっています。これは 従来 of 憲法解釈の根本を 1 8 0 度転換するものです。自 衛隊にとっても、創設以来、一人の外国人も殺さず、一 人の戦死者も出さなかった歴史を覆すことになりま す。 国会の衆議院憲法審査会では、与党推薦の参考人も含 め、参考人として招致された 3 人の憲法学者全員がこの 「安全保障関連法案」は「憲法に違反する」と明言し、 どの世論調査でも、法案に「反対」し、今国会での成立 に「反対」する声が、「賛成」を大きく上回っています。 日本の国のあり方を左右する重大問題でありながら、 1 1 本もの法案を短時間で一括審議するなど、国会での まともな審議が保障されていません。安倍首相が「夏ま でに成立」をアメリカに公約し、国会の多数議席を頼み に、国民の意思を無視して法案成立を強行しようとして いることは、民主主義上も許されません。 安全保障は国政問題とも言われますが、イラク戦争で</p>	総務文教 常任委員会

				<p>マドリードの列車爆破テロ事件やロンドンの地下鉄爆破テロ事件があったように、他国の戦争で一般市民や自衛隊員の平和的生存権や幸福追求権が脅かされるものであり、平和を願う市民にとって看過することはできません。</p> <p>よって、亀岡市議会が、「安全保障関連法制」(案)に反対の意思を表明するよう強く求めます。</p> <p>地方自治法第124条の規定により、上記のとおり請願書を提出します。</p>	
--	--	--	--	---	--